



松本復興相が辞任

「助けがない」で引責

菅政権に打撃

松本龍復興対策担当相
(60) 衆院福岡1区は
5日、東日本大震災で被災した岩手、宮城両県を訪問した際に「知恵を出さないやつは助けがない」

などと発言した責任を取り辞任する意向を固めた。震災対応を強化するため新設した閣僚の辞任は、迅速な復興を最優先に掲げる菅政権にとって

大きな打撃となった。野党は菅直人首相の任命責任を追及する構えで、退陣時期に影響が及ぶのは避けられない。

松本氏は5日朝、首相「暴言だ」と一斉に反発。野と首相官邸で会談後、記者団から辞意を固めたかと聞かれ「はい」と応じた。野党は松本氏の発言が伝えられた4日から

自民党の谷垣禎一総裁は「菅首相が内閣を掌握できていない典型例だ。内閣全体として早くお辞めになった方がよろしい」と即時退陣を求めていた。

政府、民主党執行部は、菅政権の弱体化が進む中、復興に向けた「目玉人事」が起用直後に失敗すれば政権の致命傷になりかねないとみて事態の沈静化に奔走したが、かなわなかった。

松本氏は3日、岩手、宮城両県で達増拓也知事、村井嘉浩知事とそれぞれ会談。達増氏に「(私は)九州の人間だから東北の何市がどこの県か分からない」「知恵を出したところ(自治体)は助けるけど、知恵を出さないやつは助けがないぐらいの気持ちを持って」と話した。



辞任の意向を表明し、厳しい表情を見せる松本復興相＝5日午前、東京・霞が関